

目次

はじめに	1
当日の流れ	4
参加者一覧	5
事例紹介・発表用フォーム	6

発表テーマ

No1	NPO法人千葉アレルギーネットワーク 桐谷利恵 小学校入学後の学校給食、担任の先生とのやりとりは難しい?	7
	ディスカッション▶ アレルギー対応は安全と教育的配慮との綱引き/ 個人の善意を超えたシステムの確立が急務	8
No2	NPO法人アトピッズ地球の子ネットワーク 岡村直子 学校給食誤食事故後の給食対応はいま?～提供を取りやめられた、3つの事例～	10
	ディスカッション▶ 関西ですすむユニバーサル給食/教育的配慮と医師の役目	12
No3	千葉食物アレルギー親と子の会 森田香緒里 「食物アレルギーのある親子の心理アンケート」結果報告	15
	ディスカッション▶ 親が思うよりも子どもは楽観的!? 重症児は200人に1人、9年で3倍に!	20
No4	NPO法人アレルギーネットワーク京都びいちゃんねっと 小谷智恵 もしかして食物アレルギー? 子育て不安を持つ母親たち	22
	ディスカッション▶ 情報の洪水に溺れる母親たち/ 専門職の人にアレルギーの知識を広めるには?	24
No5	「京都おこしやすプロジェクト」	26
	～京都発・修学旅行等受入施設におけるスタンダードを目指して～ ディスカッション▶ アレルギー対応に取り組む意義を明確に/ シンプル提案の強みを生かす	27
No6	一般社団法人食物アレルギーフォーラム 丹敬二 一般社団法人立ち上げと「外食等におけるアレルギー情報推進検討会」出席報告	30
	ディスカッション▶ 机上のマニュアルからの脱却/観光力の底上げというアプローチも	33
No7	NPO法人アトピッズ地球の子ネットワーク 赤城智美 食物アレルギーとアナフィラキシー患者団体国際会議 (IFAAA) 報告	35
	ディスカッション▶ 事例検討会の新たなステージ/アジア会議開催に向けて	37
No8	NPO法人千葉アレルギーネットワーク 桐谷利恵 中学校の宿泊学習、その間の治療はどうすればいい?	38
	～ピーナッツの経口免疫療法(緩徐法)のお子さんの相談～ ディスカッション▶ 経口免疫療法のスピード競争とリスク/ いい病院を紹介して、と言われたら?	39

No9	保護者の方 (代理発表) 赤城智美 病院が虐待児として通報、保護施設での誤食が原因で死亡した事例 …………… 43
	ディスカッション▶ 虐待通報をされたときの対応は？ / 医師による「診断」の重み …………… 46
特別 講演	木村彰宏先生 神戸医療生活協同組合いたやどクリニック院長・小児科 二重抗原曝露仮説が切り開いた新しい治療の考え方 …………… 54
ご感想	
	黒田和彦さん 株式会社森永生科学研究所 赤司亜珠香さん パルシステム生活協同組合連合会 …………… 69
	西山哲郎さん 東京大学農学生命科学研究科 松浦光恵さん アレルギーサポートネットさいたま
ご講評	
	事例検討会、今後の可能性を考える / 役割分担と各自の領域の連携による広がり …………… 70 畠山洋輔さん 社会学研究者 (診療ガイドラインの作成支援・普及に関わる研究等)
	食物アレルギー対応が広がるには何が必要？ / システムと文化の視点から …………… 71 エマ・クックさん 北海道大学国際本部留学生センター准教授 (文化人類学・食生活学・ジェンダー)
	医師との関係を見つめ直す / 「いい患者」への疑問符 …………… 72 大日義晴さん 日本女子大学人間社会学部社会福祉学科・助教 (家族社会学)
	食物アレルギーのある子どもや大人をどう守っていくか？ / …………… 73 協力・協同者との対立構造を生む背景 木村彰宏先生 神戸医療生活協同組合いたやどクリニック院長・小児科
寄稿	「当事者の知」と「専門知」の関係について考える / ～協力・協同者との対立構造を生む背景～ …………… 74 牛山美穂さん 早稲田大学高等研究所助教 (文化人類学・医療人類学)
	食物アレルギーの子どもをもつ母親のジレンマ / 食物アレルギーをめぐる二つの文脈 …………… 75 大日義晴さん 日本女子大学人間社会学部社会福祉学科・助教 (家族社会学)
	食物アレルギー相談への思い / 母親の向こう側にいる子に心を寄せて …………… 77 桐谷利恵さん NPO法人千葉アレルギーネットワーク
	食物アレルギーの子どもたちが直面する「教育とは何か」という根本的な問いかけ …………… 78 赤城智美 NPO法人アトピッズ地球の子ネットワーク
	【書籍紹介】 …………… 80